



SNSのマナー

Twitter (ツイッター) Facebook (フェイスブック) Instagram (インスタグラム) LINE (ライン) など、最近では SNS(ソーシャル・ネットワーキング・サービス)でのコミュニケーションが盛んになっています。手軽に発信できるのが魅力ですが、一歩間違えると取り返しがつかないことになりかねません。トラブルに巻き込まれないために、気をつけたいポイントをご紹介します。



個人情報にご注意を

他の人と一緒に写った写真をアップするときには、全員から許可を取りましょう。周りに写りこんでいる物にも注意を払い、必要に応じて見えないように加工してから投稿するとよいでしょう。また、プロフィールを詳しく登録すると、簡単に個人情報を知られてしまうこともあります。十分気をつけましょう。

仕事上の連絡をするときは

仕事上でメールのやり取りをするときには、会社のメールアドレスを使用するのが一般的です。SNS で連絡をする場合は、ビジネスメールと同等の丁寧な文面で送りスタンプや絵文字の使用は避けましょう。

位置情報にも気をつけて

写真や動画を投稿すると、位置情報も一緒に投稿されてしまうことがあります。投稿内容や位置情報の発信で、いまどこにいるかがわかってしまうだけでなく、家が留守であることがわかってしまう場合もあります。防犯面での注意も忘れずに。

連絡・投稿する時間帯に配慮を

プッシュ通知の設定をしている方も多そうですね。早朝や遅い時間の連絡や投稿は、迷惑になります。特に仕事上の連絡は、原則として就業時間内に行うよう、配慮しましょう。

友達の友達は、友達？

友達登録を経て交流する SNS もありますが、よく知らない人からの友達申請を、確認せずに承認するのは危険です。信頼できる人かどうか最低限、投稿内容やプロフィールなどを確認してから、登録するように心がけましょう。

安易な拡散は控えて

インターネット上の情報は、出どころが確かでないものや、誤った情報も多く含まれています。特に災害時などには、多くの情報が出回って、何が本当なのかが判断しづらい状況になります。正しい情報かどうかを確認せずに、安易に拡散することは危険なので控えましょう。

『ユニバーサルマナー』 ～聴覚障害者編～

聴覚障害者の方とコミュニケーションを取る方法は、手話以外にもジェスチャーや筆談・口語(口の動きで伝える)・空書(空中に文字を書く)などがあります。

口語のコツは大きく口を開けて話すこと。単語で区切って話すと伝わりやすくなります。

筆談のコツは読みやすい大きさと書くこと。短くわかりやすい言葉で適度に漢字を混ぜて

書きましょう。手元にメモ用紙がないときは、携帯電話やスマートフォンのメール作成画面などを使うのもいいでしょう。



SNS始めました！



何かお手伝い
できることは
ありますか？



ユニバーサルマナー
マーク